

第91回一般質問一覧表

4.9.21

順位	氏 名	大 項 目	小 項 目 (要 旨)	答 弁
1	村岡栄紀	SDGsで西脇市の未来を変革しよう	<p>(1)市民のみなさんは、SDGsへの期待だけではなく、困惑も入り混じった状況であるとともに、そもそも「SDGsとは何？」ということ、よく理解されていない人が多いと感じるが。</p> <p>(2)本市においてはSDGsを大きなキーワード・理念として市政の運営を進めて行くということだが、実際の業務にあたる職員さんには、SDGsへの取組がしっかりと浸透しているのか。</p> <p>(3)市民のみなさんがSDGsについて、しっかりと理解し、積極的に実践できるようにするための取組、及び啓発活動、特に8年後（2030年）以降に、時代の中心となるべき小中学生へのアプローチは必要不可欠であり、急務であると考えているが、現在の進捗状況と今後の展望は。</p> <p>(4)「西脇市SDGs推進計画」は西脇市総合計画に体系付けられた政策・施策について、SDGsの視点から再構成し、SDGsの各ゴールの達成に向けた本市の取組を可視化しようとするものだという事だが、非常にわかりにくいと感じるが。</p> <p>(5)「西脇市SDGs推進計画」は、西脇市総合計画にSDGsの理念を反映させているということだが、単にページ構成の順番等を入れ替えただけの事務仕事のように感じる。世界レベルの変革をもたらすSDGsを反映させることによって、具体的に総合計画の何が変わったのか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(6)「西脇市SDGs推進計画」は西脇市総合計画に関連しそうな活動をSDGsと紐づけるにとどめてあるにすぎず、何も伝わってこない。そこで“西脇版SDGsの推進”に対し、本市の特性や優先順位を考慮した”明確でわかりやすいゴール”を設定し、市民のみなさんに示すべきだと考えるが。</p> <p>(7)SDGs未来都市として、担当部署を積極的にPRするのは言うまでもなく、活動の「見える化」が非常に重要になると考えるが。</p> <p>(8)SDGs達成の施策には、タテ割になりがちな従来の仕組みを横断的に、かつ、プロジェクトベースで捉えたりすることが求められるが、市長直属のSDGs専門部署によって、そういった仕組みや組織の改革を構築できるのか。</p> <p>(9)本市においても、SDGs達成に向けて経済、社会、環境等の三側面に関連して取り組んでいる地域事業者を見出し、認証を行うとともに、その活動に対して助成金等の優遇措置を講じられることを提案する。</p>	
			<p>(10)持続可能な開発のための2030アジェンダ(決議文書)には「改善する」や「修正する」ではなく「我々の世界を変革する」という大胆な言葉が使われているように、大きな未来から望まれる変革を現場で取り組んでいくためには、地域の仕組みを現在の延長で考えて改善するのではなく、根底にある価値観やこれまでの常識といった前提条件を全て変えるという大局的な視点を持つことが重要であると考えるが。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(11)本市の子どもたち一人ひとりの能力が最大限に発揮されるよう、小中学校のうちから「探究学習」を追求し、高校とも連携して、学校が地域課題を考え解決する機関(シンクタンク)となるべきだと考えるが。	教育長
			(12)本市の将来の発展のため、課題解決に向けた行政や地元企業の協力の下、「探究学習」を通じて地域から優秀な学生の流出を抑制し、新規事業を多数生み出す土壌となるような仕組みの構築を目指すべきだと考えるが。	市長
2	東野敏弘	子どもたちが学びやすい学校施設を整備するための学校予算の確保について	<p>(1)西脇市内の小学校・中学校の学校施設の現状について 西脇市内の小学校・中学校の中には、老朽化が著しい校舎や設備、箇所が多数存在している。学校施設の現状と課題(問題点)を教育委員会としてどのように把握されているのかを問う。併せて、課題のある学校施設をどのように改善しようと努力されてきたのか、プール・廊下のタイル等、具体例を挙げて問う。</p> <p>(2)学校施設の修繕費、備品購入費等、学校独自の予算について 児童生徒の活発な活動のために、日常的に起こる学校施設の修繕や臨時的な支出に早急に対応するため、各学校独自の予算が必要であると考え。学校規模によっても異なるが、修繕費等の学校独自の予算の確保について教育委員会の見解を聞く。</p> <p>(3)西脇市内の小学校・中学校の施設整備計画について 西脇市内の小学校・中学校には、老朽化の著しい施設が数多くある。令和2年3月に策定された「西脇市立小中学校教育施設長寿命化計画」があるが、学校学習環境規模の適正化の実施計画が出されるのに合わせ、再検討する必要があると考え。併せて、実効性のある計画をいつ策定するのかを問う。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(4)学校教育において教育行政が果たすべきこと、学校教育予算の確保について、教育長に問う。</p> <p>児童生徒に直接学習指導を行うのは、当然現場の先生方であるが、教育行政を担う教育委員会の果たすべき役割を問う。教育委員会は、学校施設整備や教育予算も確保等を行い、児童生徒が学びやすく、先生方が教育しやすい施設・環境整備であると考えているが、学校教育において教育委員会の果たすべき役割をどう考えているのかを問う。併せて、学校教育予算の確保について、教育長の考えを問う。</p>	教育長
			<p>(5)学校予算の確保・充実について</p> <p>片山市長は、「市長ふるさとを語る」事業を始め、市内8小学校4中学校をたびたび訪問されている。西脇市の小中学校施設の現状をどのように認識されているのかを問う。併せて、学校施設整備に関する必要な予算の確保が必要であるが、市長の考えを問う。</p>	市長
3	寺北建樹	市街化調整区域等の環境整備について －市道・県道・国道の法面の維持管理(草刈等)－	<p>(1)議会報告会で出された参加者からの意見・要望</p> <p>高齢化で農業をするものが少なくなっている。田んぼに隣接する市道等の法面の草刈りが年々困難になってきている。行政で対応できないか。</p> <p>(2)市道・県道・国道の法面の維持管理(草刈等)の現状と課題</p> <p>現状に対して行政はどのように考えているのか。</p> <p>(3)数年先に予想される姿</p> <p>農地中間管理事業の推進と市道等の法面の維持管理(草刈等)は矛盾してくるのではないか。</p>	市長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(4)農地水環境保全隊事業や河川環境整備事業的な新たな施策が必要 今後のあり様について、区長会等と真剣な話し合いをただちに開始すべきではないか(時間的余裕はない)	
4	藤原秀樹	西脇市の地域資源の活用と効果的な発信について	(1)地域資源の発信について 西脇市シティプロモーションのこれまでの取組と成果は。 (2)魅力ある地域資源について 西脇市の地域資源は何があるのか。 (3)地域の宝の活用について 西脇小学校の観光などにいかしていくには。 (4)今ある民間施設の遊休資産の活用について 閉館した「官兵衛の湯」の購入や運営の支援などはできないのか。 (5)具体的な施設の活用について 写真映えするモニュメントの設置や「西脇市」を示す看板を国道から昼夜とわず設置などの取組をしてはどうか	部長
			(6)トップマネジメントの地域資源の活用の思いについて 地域資源の効果的な活用と外部への発信に向け重視していくポイントと今後の取組について伺う。	市長
5	藤原哲也	西脇市内の死亡事故撲滅について	(1)令和4年度の西脇市管内の交通事故件数が昨年よりも増えているが、現状の事故の発生状況は。 (2)交通事故件数が増加した要因は。 (3)事故防止の安全啓発活動の取組は。 (4)市道のハード面での維持管理の点検計画と点検頻度は。 (5)市政として市内の郵便局と地域共働事業に関する包括連携協定」を結び、道路関係の保全の協力を頂く提案についての考えは。	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(6)市民の世帯ごとに夜光反射材を無料配布の提案に関しての考えは。	
			(7)近隣の市でも歩行者の交通事故撲滅に向けて市独自の条例が施行されている。市政として夜間歩行者の安全確保に関する条例を施行し、歩行者や自転車の運転者が夜光反射材を着用する条例を制定する提案に対し市長の考えは。	市長
6	杉本佳隆	マイナンバーカード普及促進について	<p>(1)マイナンバーカードとは。</p> <p>①メリットとカードについて</p> <p>②マイナンバーカード交付申請は、2016年1月からだが、過去に申請された方もポイントは貰えるのか。</p> <p>(2)市民の皆さんから聞くデメリットについて。</p> <p>①マイナンバーカードを作らない理由は。</p> <p>(3)市民の皆さんに申請していただくために。</p> <p>①セキュリティー対策、個人情報管理等、安全性をしっかりと広報するべき。</p> <p>②市内で利用できる病院、薬局を増やすように、市から医師会、薬剤師会等に協力要請を。</p> <p>(4)西脇市のマイナンバーカード申請、交付率の現状と課題を聴く。</p> <p>①現在の市民全体の申請率、取得率、市役所職員、家族の申請率と取得率は。</p> <p>②申請後、交付までの日数はどのくらい要しているのか、現状と課題をどのように認識しているのか。</p> <p>③8月臨時会で議決された『マイナンバーカード交付事務費補助金』4,500万円はどのように現在活用されているのか。</p>	部長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			<p>(5)マイナンバーカード交付申請に関わっている市役所職員について。</p> <p>①休日も含め、市関連施設などで市役所職員が交付申請の業務をされているのを見かけるが、業務負担の軽減を図るため、派遣スタッフを増やすべき。</p>	
			<p>(6)目標値65%に向けた市長の意気込みと展望は。</p> <p>①マイナポイントを活用した消費活性化、一人当たり4万円。全市民が使用すれば約15.6億円の経済効果の根拠と将来のデジタルトランスフォーメーションにむけて。</p>	市長
7	高瀬弘行	物価高騰に伴う高齢者に対する支援策について	<p>(1)物価高騰の現状認識について</p> <p>(2)物価高騰が年代階層や収入階層別に与える影響の違いについて</p> <p>(3)物価高騰に伴うこれまでの主な支援策は</p> <p>(4)上記支援策のうち、高齢者を対象とした支援策は</p> <p>(5)「住民税非課税世帯」と支援策についてこの間、「住民税非課税世帯」などに対して、支援策が実施されてきたが、資産が考慮されていない点について、どう考えるか。</p>	部長
			<p>(6)上記の議論を踏まえて、物価高騰に伴う高齢者に対する支援策を求める。</p>	市長
8	村井正信	教員の長時間労働の解消策について	<p>文部科学省のHPでOECD経済開発機構加盟国の2018年の教育に関する結果を見ると、日本の教員の仕事時間は参加国中で最も長く、一方教員が職能開発活動に使った時間は、参加国中で最短とある。</p> <p>文部科学省もその現状を認め、改善を進めているようだが、人的な改善がないままに進められており、現場では毎日長時間労働が続いている。</p> <p>(1)教育長は西脇市の小・中学校における教員の仕事量についてどのような認識を持っているのか。</p>	教育長

順位	氏名	大項目	小項目(要旨)	答弁
			(2)勤務時間の把握はどのようにして行っているのか 早朝の時間帯における教員の現状、給食時の教員の現状について把握しているか。	
			(3)小・中学校の平均超過勤務時間数は何時間ぐらいか	部長
			(4)教育委員会としては教員の長時間労働の原因はどこにあると考えているのか。	
			(5)教員の長時間勤務の改善にどのように取り組んでいますか	教育長
9	森脇久夫	加古川線(西脇市一谷川間)の利用促進について	(1)兵庫県における協議会での協議・検討状況について JR西日本の赤字ローカル線発表を受けて兵庫県ではJRローカル線維持・利用促進検討協議会を設置し、またその下部組織として加古川線ワーキングチームを設置し協議・検討するとのことだが、その状況はどのようになっているか。	部長
			(2)市が実施したアンケート結果について 実施したアンケート結果をどの様に活用しているのか。	
			(3)加古川線の利便性向上について 福知山線との乗り換え接続の改善は利用者対策において重要と考える。大幅なダイヤ改正は輸送量の多い路線との関係で難しい面もあるだろうが、大きな改正を伴わない範囲でのダイヤ改正で対応できる部分は、積極的にJR西日本へ要望すべきではないか。	
		加古川および野尾谷川の改修計画について	(1)加古川(黒田庄地区)の整備実施状況と計画について 下流部との整合性を取りながら黒田庄町福地付近までの河床掘削等工事は進捗しているが、その状況とそれより上流部の工事の実施状況と計画を問う。	
			(2)野尾谷川の仮設堤防の現状と整備計画について 野尾谷川については、加古川との合流点付近から上流にむけて仮設堤防となっているが、その整備に向けた取組を問う。	